

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2ワイワイキッズLabo		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日 ~ R8年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R7年1月6日 ~ R7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育だけではなく、小集団プログラムを取り入れている。	・保護者の希望に合わせて個別療育のみか小集団を加えるかを選択できるようにしている。 ・小集団プログラムでは、ダンスや手遊び、ふれあい遊び、パネルシアター、読み聞かせ、朝の会など、楽しい活動の中で集団生活のスキルが身に付けられるように支援している。	・小集団プログラムを行っていることを周知して、利用人数を増やし、さらに充実した支援となるように努める。 ・身辺自立を経験する機会を増やし、支援の充実を図っていく。
2	個別の療育を基本にしているため、一人一人に寄り添った丁寧な支援を行うことができる。	・個別で療育しているため、一人一人に丁寧にきき合い寄り添った支援を行っている。 ・個別で見えた課題については、その都度共有し支援の内容について話し合っている。 ・送迎の際に、保護者にその日の様子や最近の様子を聞き、職員間で情報共有している。	・今後も保護者とのコミュニケーションを大切に、職員間の情報共有も密にとっていく。
3	6ヶ月毎のモニタリングを丁寧に行っている。また、モニタリングに限らず、保護者が相談したいことがあった時には時間をとって相談できる環境を整えている。	・健康観察シートに面談希望の有無を記載する欄を設けており、保護者が相談したいときに遠慮なくスタッフに伝えられるようにしている。 ・保護者との送迎時に1対1で話すことができるので、ニーズや相談事がないかを確認するようにしている。	・今後も健康観察シートの確認、送迎時の対応を丁寧に行い、保護者が相談したいときに相談できるように努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午前中に小集団を行っているが、利用の人数があまり増えなかった。	・3事業所の中で小集団プログラムを行っているのは2丁目教室のみだが、そのことが周知されていない。	・2丁目も新規利用を考えている方の窓口となり、小集団プログラムがあることを伝え、保護者の方が検討できるようにしていく。
2	各マニュアルを作っているが保護者に周知されていない。	・各マニュアルは作成し、訓練なども行っているが周知が難しかった。	・教室内掲示や公式LINE等を使って今後も継続して伝えていく。
3	茶話会に実施を2回実施し、保護者同士の交流の機会を設けたが、実施したことが全員に周知しきれていない。	・茶話会のお知らせは保護者全員に公式LINEや掲示物で一斉にお知らせしているが、保護者が気づきにくく、集まりにくかった。	・今後も公式LINEや掲示物を使ってお知らせしていく。送迎時に個別の声かけも行い、参加の有無にかかわらず、茶話会で保護者同士の交流があることを周知していけるようにする。